

文教警察委員会 県外所管事務調査の概要

◆調査日程 平成30年7月18日(水)～7月20日(金)

◆調査先・調査内容

①北海道警察本部(札幌市中央区北2条西7丁目)

調査内容：増加する外国人観光客等インバウンドへの対応について

北海道は、雄大な自然、冷涼低湿な気候に加え、温泉やスキー場など有名な観光地も多く、29年度の訪日外国人来道者数は過去最高の279万人である。また、ラグビーワールドカップ2019大会や2020年東京オリンピック(サッカー競技)の開催地となっており、今後も外国人観光客の増加が予想される。

北海道警察では、増え続けるインバウンドに対応するため、外国人ドライバー向けDVDの作成や、レンタカー会社・市町村の外国人スタッフと連携した啓発活動、英語併記の信号機地名板・道路標識の設置など、外国人観光客の交通事故抑止対策や安全・快適な交通環境の確保に取り組んでいる。

本県でも、ラグビーワールドカップ2019大会の開催により、これまで少なかった欧米・大洋州からの来県も見込まれることから、北海道警察における外国人観光客等インバウンドへの対応状況について調査した。

<主な質疑等>

- ・外国人観光客による交通事故の現状と対応状況、事故防止等の啓発活動について



②北海道静内農業高等学校(日高郡新ひだか町静内田原)

調査内容：地域の特色を生かした農業高校の運営等について

本校は、日高地域唯一の農業高校で、食品科学科及び生産科学科の2学科編成である。進路学習では、地域と連携したキャリア教育に取り組み、3年次には、一般企業や牧場、農家での長期実習を行い、職業観・勤労観の育成や専門技術の深化、社会人としての資質向上等に努めており、進路決定率は毎年100%である。

生産科学科では、競走馬の産地である日高・東胆振地域の産業の特色を生かし、全国で唯一、教育課程に軽種馬(サラブレッド)の生産から販売までを学習する馬コースを設けており、本校には13人の道外出身者が在籍している。

本県では、平成31年4月から、三重総合高校久住校を県内唯一の農業単科校「久住高原農業高校」として本校化し、あわせて、県内初となる生徒の全国募集を行う予定であることから、本校における、地域の特色を生かした取組、生徒確保の概要等について調査した。

<主な質疑等>

- ・道外生徒の募集・応募状況、社会ニーズに対応した学科編成について



③北海道警察航空隊（札幌市東区栄町）

調査内容：ヘリコプターの運用状況等について

北海道では、近年、相次ぐ台風の上陸や梅雨前線等に伴う記録的大雨による河川氾濫や土砂崩れなどのほか、地震や火山災害等が多発している。（震度5弱以上の地震：5年間で6回、監視・観測体制の充実が必要な火山：9火山）

北海道警察航空隊は全国で2番目の規模であり、ヘリコプター5機により情報収集、被災を想定した救出・救助、交通規制等の実働訓練を行っている。訓練では、自衛隊や消防、海上保安庁等の関係機関のほか、協定に基づく民間企業・団体等も参加し、連携して取り組んでいる。

本県でも、熊本地震、梅雨前線豪雨、台風第18号災害などが相次いで発生しており、激甚化する災害への迅速・適格な対応が求められることから、同警察航空隊におけるヘリコプターの活動状況（災害発生・犯罪捜査における情報収集や捜索・追跡活動、救助活動、救急搬送活動等）について調査した。

<主な質疑等>

- ・災害対応における他機関との連携、ヘリコプターの性能について



④北海道札幌高等養護学校（札幌市手稲区手稲前田）

調査内容：高等特別支援学校の運営等について

同校は、平成10年開校の高等特別支援学校で、窯業科・産業科、木工科、クリーニング科、農業科・生活園芸科及び家庭総合科・生活家庭科の5学科編成である。

生徒のキャリア発展を支援する課題解決学習の授業づくりを研究主題として教育課程の改善や生徒指導の充実、生徒の自立に結びつく進路指導、職業教育の充実等に取り組んでおり、29年度の卒業生55人の進路のうち、就労（A型事業所含む）13人、福祉的就労（通所）40人などとなっている。

本県では、本年2月に特別支援学校の再編・整備を行うための第三次大分県特別支援教育推進計画を策定しており、一般就労を目指す生徒の職業教育の充実のため、本県初となる高等特別支援学校の新設を進めていく予定であることから、本校の運営、施設・設備の状況等を調査した。

<主な質疑等>

- ・進路指導、希望就職先とのマッチング、就職先の確保について

